

はなの木

飯地小学校だより
令和7年度 第1号

令和7年4月11日

一人一人が主役になれる学校

校長 下 畑 茂

『我以外皆我師』誰からも学び合える

4月、出会いの季節。新1年生3名、そして新しい教頭先生を迎え全校児童16名、職員10名で令和7年度の飯地小学校が始まりました。私は、飯地小学校2年目を迎えます。飯地の町には、自分が子どもの頃に育ってきた原風景や原体験があり、そして子ども達が大人になっても忘れられない原点があると感じた1年間でした。

3月の卒業式は全校児童が参加しました。卒業生の5名だけでなく、在校生の「一人一人が主役」でした。体育館に響く歌声。学校運営協議会長が語られた校歌に込められた願いは、この姿にあることを確信しました。学校行事、日常生活での異年齢集団活動を通して、「誰からも学び合える」環境の中、お互いを思いやる心が養われ、子ども達が逞しく育っていることが、本校の伝統であり誇りです。この良さを継承し、保護者の皆様、地域の方々の温かな支えと共に、学校の教育目標「夢をもち 懸命に生きる子」～進んで学ぶ子・思いやりのある子・元気な子～を目指して、子ども達の成長を認め、励まし、本気で向き合い、職員一同取り組んで参ります。今年度も、ご協力の程、宜しくお願いいたします。

「なりたい自分に なれる自分へ」

「2025年小学生のなりたい職業」の記事を読みました。パティシエ・警察官・スポーツ選手・レスキュー隊・芸能人・運転手・保育士・医師・ユーチューバー・漫画家等。

子ども達が成人する10年先、ロボットと共存して一緒に行う仕事や新しい仕事が生まれていることでしょう。そんな中、昨年度の職業講話で講師の方が語られた「自分らしさ」を磨く大切さを思い出しました。仲間と協力し誰かに合わせる事も必要。一方で自分は何がしたいか試行錯誤し、自分で決めていく力を小学校から育てていくこと。

始業式で子ども達に、「今は、夢は1つでなくていいよ」と話しました。なりたい職業を通して、どんな人になりたいか。「夢は保育士。誰にでも優しくできる人になりたい」という卒業生の残してくれた言葉をヒントに「あなたはなりたい自分に近づいていきますか？」と子ども達と一緒に考えることを今年度も大切にしていきます。

新入生にプレゼントを
おくる6年生



この度の定期異動で、次の職員の転出入がありましたので、紹介します。



〔転出職員〕 教 頭 玉置 和也 （本校2年間） 瑞浪市立釜戸小学校へ
皆様方に、いろいろな面で世話になりました。ありがとうございました。

〔転入職員〕 教 頭 鈴木 由美子（すずき ゆみこ） 恵那市立岩邑小学校より
2回目の飯地小学校。お世話になります。どうぞ、宜しくお願いいたします。

飯地小学校運営協議会 「地域と共にある学校」 ふるさと探訪遠足 下見に行きました

～地域ぐるみで育てたい姿『豊かな体験を通して、ふるさと飯地への愛着と誇りをもつ』～

この春休みに「いいじっ子サポーター」の山口鉦一さんにご案内いただき、遠足コースの下見に行ってきました。今年度は、学校の東側コースです。神社、大木、巨岩、石器時代の遺跡、そして初夏に現れるホタルの群生地。それぞれの場所を訪れ、お話を聞くと、ますます飯地の町に興味湧き、好きになっていくことでしょう。今年度のコースは、少し短く？全長8kmになります。

一緒に歩いてくださる保護者、地域の方を募集しております。子ども達と春の飯地を探訪し、交流を深める機会となることを願っております。詳細につきましては、裏面をご覧ください。

